

## 「金融・資本市場競争力強化プラン」の基本的な考え方

### 競争力強化の必要性

- 少子高齢化が進展する中で、我が国経済が今後も持続的に成長するためには、
  - 我が国金融・資本市場において家計部門の金融資産に適切な投資機会を提供すること
  - 内外の企業等に成長資金の供給を適切に行っていくこと、が求められている
- 国際的な市場間競争が一層激化する中、我が国金融・資本市場が内外の利用者のニーズに応え、その役割を十分に果たしていくためには、我が国市場の競争力を強化し、その魅力を向上させていくことが喫緊の課題
- 金融サービス業が高い付加価値を生み出す産業として日本経済に貢献することも期待

### 「金融・資本市場競争力強化プラン」の柱

#### I. 金融・資本市場の信頼と活力

→公正性・透明性を確保しつつ多様性・利便性を高める市場インフラを整備

#### II. 金融サービス業の活力と競争を促すビジネス環境

→多様で質の高いサービスの提供を可能とする、時代のニーズにマッチした競争環境を整備

#### III. より良い規制環境(ベター・レギュレーション)

→監督当局の行政手法の改善により、規制の実効性・効率性・透明性を向上

#### IV. 市場をめぐる周辺環境

→専門性の高い人材の確保、都市インフラの充実

# 「金融・資本市場競争力強化プラン」の概要

## I. 金融・資本市場の信頼と活力

<多様な資金運用・調達機会の提供の促進>

### ≫ 取引所における取扱商品の多様化

- ・ ETF(上場投資信託)の多様化  
【関連法案を早急に提出。20年上半期を目途に関連政府令等を改正】  
→ 簡便かつ効果的な分散投資を可能とするETFの多様化によって、株式・債券や金融デリバティブから商品デリバティブまで幅広い投資を可能に
- ・ 金融商品取引所と商品取引所の相互乗入れ  
【20年中を目途に検討を進め、その後、すみやかな実現を図る】  
→ 取引所間のグループ化等を可能とし、株式・債券や金融デリバティブから商品デリバティブまで総合的で幅広い品揃えを可能に

### ≫ プロ向け市場の枠組みの整備【関連法案を早急に提出】

### ≫ 「貯蓄から投資へ」の流れを強化するための証券税制

<市場の公正性・透明性の確保>

### ≫ 金融商品取引法上の課徴金制度の見直し【関連法案を早急に提出】

- 違法行為抑止の実効性の一層の確保に向けた、対象範囲・金額水準等の見直し

### ≫ 証券取引等監視委員会等の市場監視部門の体制強化

## II. 金融サービス業の活力と競争を促すビジネス環境

### ≫ 銀行・証券・保険間のファイアーウォール規制の見直し

【関連法案を早急に提出】

- ・ 役職員の兼職規制の撤廃、銀行・証券間の非公開情報の授受の制限の緩和

### ≫ 銀行・保険会社グループの業務範囲の拡大【関連法案を早急に提出】

- ・ 商品取引、イスラム金融、排出権取引、企業再生等のための株式保有

### ≫ 銀行・証券・保険における利益相反管理態勢の整備

【関連法案を早急に提出】

### ≫ 海外ファンドマネージャー誘致のためのPEリスクの排除

## III. より良い規制環境(ベター・レギュレーション)

### ≫ 対話の充実とプリンシプルの共有

- (→ 事業者や関係諸団体との双方向の対話の充実)

### ≫ 規制・監督の透明性・予見可能性の向上

- (→ 金融関係法令等の英訳の推進、課徴金事例集の作成等)

### ≫ 海外当局との連携強化

### ≫ 市場動向等の的確な把握と効果的な行政対応

- (→ 体制整備や検査での対応等)

### ≫ 職員の資質向上

## IV. 市場をめぐる周辺環境

### ≫ 国際的に通用する金融・法務・会計等の専門人材の育成・集積

- ・ 高度かつ実践的な金融教育の充実
- ・ 公認会計士試験の改善【22年までに試験の実施方法を改善】
- ・ 金融専門人材の育成【20年に具体的な制度設計の検討を開始】

### ≫ 国際金融センターとしての都市機能の向上